

年 組 名前:

問1

こうふし しみんだんたい
甲府市の市民団体は、
む
だれ向けに、なにのための
きょうざい
パネル教材を
せいさく
製作しましたか。

・だれ向け

・なにとため

問2

パネルには、なにが
書かれていますか。

問3

あなたが、インターネットを利用する時に注意していることを、自由に答えてください。

安全なネット利用 子どもと親に啓発

防犯活動などに取り組む甲府市の市民団体「リスムオブ」(59)は、小学校低学年の児童や幼少期の子どもの持つ「保ラフ」を主宰する渡辺光美さん(59)を主筆とする「インターネット」を主宰する渡辺光美さん(59)を主筆とする「インターネット」



でも、使い方をまちがえると
ネットやスマホって、とても便利
YouTube → SNS → 犯罪!
変化に目・心を配る!

市民団体主宰がパネル製作

を通したトラブルを防ぐためのパネル教材を製作し、啓発活動を始めた。「ネットは便利な半面、いじめや犯罪の入り口にもなっていて、使い始めた時からの教育が重要」といい、危険性や安全に使うためのポイントなどを周知している。

渡辺さんは、県内各地で命を自分で守る防犯プログラムを普及に取り組んでいる。活動を進める中で、ネットが交流サイト(SNS)を通していじめや闇バイト、被害者など多くのトラブルの入り口になっていると気付いたという。

幼少期からスマートフォンなどに触れて育つ子どもが多い中、「小さい子どもやその

保護者への安全教育は手薄になっている」と感じ、教材を企画。県男女共同参画団体活動促進事業の補助金を活用し、ネットに関連する問題や、使用時に子どもを見守る重要性などを伝えるパネルを作った。

パネルは、ネットを通したトラブルの事例や犯罪被害に遭わないための注意点、安全な使い方などをキーワードで表現。漢字やアルファベットには読み方を付けた。製作に際しては、行政や警察で青少年の相談に応じる担当者から、特に注意を促したいことを聞き取ったという。

渡辺さんは、親子や子ども向けの講座などでパネルを活用している。「子どもにも伝わりやすいように、カラフルで目で見て分かるものと考えた。保護者にはその時々々の発達段階に合わせて、子どもを見守り、使い方を伝えてほしい」と話している。

三枝大悟
杉原みすき
甲府

<杉原みすき>

(2025 年 3 月 11 日付 山梨日日新聞 17 面)